

令和5年度

海外高校生招聘 事業報告書



目次

はじめに	2
------	---

1 実施日程

3

全体スケジュール	3
----------	---

2 海外生徒の派遣元国(招聘国)

4

3 受入都立学校等

4

4 来日・出迎え

5

1 到着日の様子	5
----------	---

2 交流に向けて(インタビュー)	5
------------------	---

5 オリエンテーション

6-7

1 東京都教育委員会挨拶	6
--------------	---

2 引率者向けオリエンテーション	6
------------------	---

3 生徒向けオリエンテーション	7
-----------------	---

4 グループミーティング	7
--------------	---

6 招聘プログラムの概要

8-11

1 プログラムスケジュール	8-9
---------------	-----

2 大使館訪問	10
---------	----

3 文化体験①	10
---------	----

4 文化体験②	10
---------	----

5 都内視察	11
--------	----

6 食事手配	11
--------	----

7 学校交流

12-22

事例紹介一覧	12
--------	----

交流事例① 歓迎会・オリエンテーション	13
---------------------	----

交流事例② 授業体験(バディ制)	14
------------------	----

交流事例③ 授業体験(英語)	15
----------------	----

交流事例④ 発表・ディスカッション	16
-------------------	----

交流事例⑤ 部活動体験(和太鼓部)	17
-------------------	----

交流事例⑥ 部活動体験(茶道部)	18
------------------	----

交流事例⑦ その他交流(大使講演)	19
-------------------	----

交流事例⑧ その他(附属小学校交流)	20
--------------------	----

交流事例⑨ 送別会・フェアウェルパーティ	21
----------------------	----

交流事例⑩ 送別会・フェアウェルパーティ	22
----------------------	----

8 修了式

23

1 教育長挨拶	23
---------	----

2 代表生徒スピーチ	23
------------	----

3 記念品贈呈	23
---------	----

9 帰国

24

1 最終日の様子	24
----------	----

2 帰国空港での様子	24
------------	----

フォトアルバム

はじめに

国内外の学術、文化、経済をはじめ、様々な分野でグローバル化が進展している中、東京が継続して発展するためには、東京に暮らす全ての人々が多様な文化を受け入れ、分け隔てなく自己の能力を発揮できる社会を作り上げていく必要があります。これはまた、年齢、国籍、文化の違いや障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が互いの人権を尊重し合い、共に力を合わせて生活する共生社会を実現していくことです。

このため、これからの時代を生きるこれからの子供たちには、自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観をもつ人々と協力・協働しながら課題を解決する力が求められます。また、多くの外国の人々と交流する機会が増えていく中、自らすすんで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚を醸成する必要があります。

東京都教育委員会では、本指針を踏まえ、グローバル人材の育成に向けて、多くの生徒が様々な国や地域の同世代の若者と直接交流する機会を創出することを目的に海外の生徒を受け入れ、都立高校生・中学生との交流活動を含む招聘プログラムを2023年11月に実施しました。

今回招聘した海外の生徒は、欧州、中東、西アジア、東南アジアの計8か国の生徒100名です。1週間の東京滞在中で、東京で暮らす人々の日常と日本の伝統・文化、そして、東京の最先端のクリエイティビティに触れるとともに、都立学校等での交流プログラムに参加し、東京の高校生及び小・中学生との交流を深めました。

本報告書は、本事業を紹介するとともに、今後、東京都内の多くの学校で、海外の同世代の若者との交流や海外生徒の受入を実施する際の参考としていただくため、都立高校や中等教育学校で行った交流活動を事例として紹介しています。今後、様々な学校で国際交流が一層促進され、東京のグローバル人材育成に寄与することを期待します。

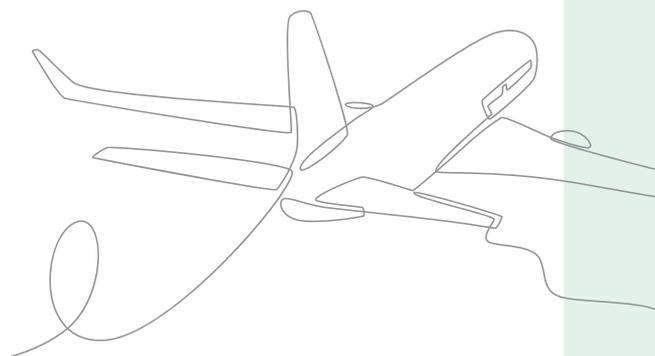
令和6年1月

東京都教育委員会

1 実施日程

全体スケジュール

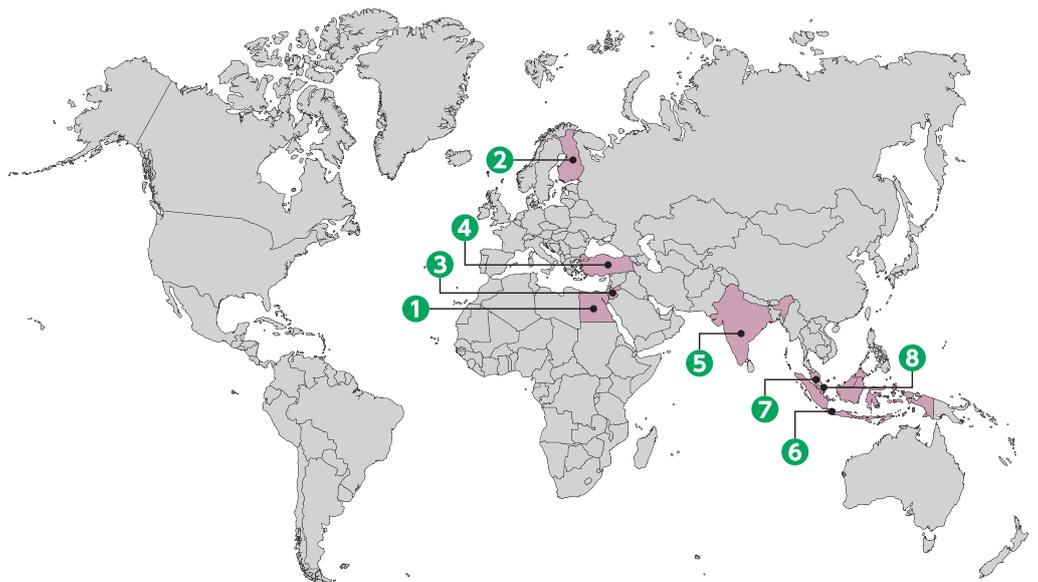
5月	招聘候補国の教育機関等へアプローチ開始
6月	招聘候補国の教育機関等へ招聘状の送付
7月	招聘国の教育機関等と受入に向けた調整開始 招聘国と受入都立学校の組合せ検討
8月	受入都立学校の決定 招聘生徒・引率者の決定 フライト・宿泊先の手配
9月	受託事業者決定 事務局開設 受入都立学校と交流内容の検討
10月	各種準備(宿泊、食事、宗教上やアレルギーによる食事制限の確認、都内視察、交流活動、 プレゼンテーション・ディスカッションテーマの設定、自己紹介シートの回収など) 招聘国とのオンライン打合せ 招聘国の生徒と受入都立学校の生徒とのオンラインによる事前交流の設定 入国手続(査証)手配
11月	オリエンテーション準備 来日 プログラム実施 帰国 アンケート調査
12月	お礼状の送付 記録動画と報告書の制作
翌年1月	来年度の交流について打診・調整



2 海外生徒の派遣元国（招聘国）

全体合計 海外高校生…100名(女54・男46) 引率…17名

1 エジプト 正式国名 エジプト・アラブ共和国 Arab Republic of Egypt 参加生徒 12名(女4名、男8名) 引率教員 2名 合計人数 14名	2 フィンランド 正式国名 フィンランド共和国 Republic of Finland 参加生徒 12名(女6名、男6名) 引率教員 2名 合計人数 14名	3 ヨルダン 正式国名 ヨルダン Jordan 参加生徒 12名(女8名、男4名) 引率教員 2名 合計人数 14名	4 トルコ 正式国名 トルコ共和国 Republic of Türkiye 参加生徒 16名(女10名、男6名) 引率教員 2名 合計人数 18名
---	--	--	---



5 インド 正式国名 インド共和国 Republic of India 参加生徒 12名(女7名、男5名) 引率教員 2名 合計人数 14名	6 インドネシア 正式国名 インドネシア共和国 Republic of Indonesia 参加生徒 12名(女6名、男6名) 引率教員 3名 合計人数 15名	7 マレーシア 正式国名 マレーシア Malaysia 参加生徒 12名(女6名、男6名) 引率教員 2名 合計人数 14名	8 シンガポール 正式国名 シンガポール共和国 Republic of Singapore 参加生徒 12名(女7名、男5名) 引率教員 2名 合計人数 14名
--	--	--	--

3 受入都立学校等

受入校	招聘国	1週目			2週目		
		1日目 (11/14)	2日目 (11/15)	3日目 (11/16)	1日目 (11/20)	2日目 (11/21)	3日目 (11/22)
都立富士高等学校・附属中学校	ヨルダン	●					
都立桜修館中等教育学校	トルコ	●	●	●			
都立小石川中等教育学校	フィンランド	●	●				
都立川国際中等教育学校・附属小学校	エジプト	●	●				
都立南多摩中等教育学校	ヨルダン		●	●			
都立三鷹中等教育学校	フィンランド			●			
都立大泉高等学校・附属中学校	インドネシア				●	●	●
都立白鷺高等学校・附属中学校	シンガポール				●	●	
都立両国高等学校・附属中学校	インド				●	●	●
都立武蔵高等学校・附属中学校	マレーシア				●	●	

4 来日・出迎え

各国の出発空港から成田空港又は、羽田空港へのフライトについては、東京都が委託した旅行会社が手配しました。到着時には、旅行会社のスタッフが国際線到着ロビーで留学生を出迎え、母国通貨から日本円への両替等をしたのち、空港から宿泊先ホテルへの移動をサポートしました。

1 到着日の様子

1週目は、ヨーロッパ方面からのフライト遅延や欠航が生じ、ヨルダン及びトルコからの留学生の到着が大幅に遅延するというトラブルが発生しました。

このため、新たな移動手段を急遽手配したり、プログラムの予定を変更するなどの対応を要しましたが、日本到着までに必要な変更手配を済ませ、ホテルまでの移動車内でオリエンテーションを実施するなどの対応で、無事に他留学生と合流し、大きな遅れなく、プログラムを開始することができました。

2週目は、全ての招聘国からのフライトが遅延なく到着し、予定通りにプログラムを開始しました。



2 交流に向けて(インタビュー)

今回のプログラム期間中は、撮影チームが同行して学校での交流活動や都内視察の様子を撮影し、本事業の記録動画を制作しました。到着空港では、来日直後の留学生に東京の高校生との交流に対する意気込みをインタビューしました。



留学生への
インタビュー
の様子



エジプトの留学生

「日本の教育制度がどのようになっているのか、実際に学校に行って、見てみたいです。」

「美しい日本の文化に触れる機会や、親切で礼儀正しいという印象のある日本人との交流を楽しみにしています。」



インドの留学生

5 オリエンテーション

宿泊先に到着後、オリエンテーションを行いました。東京都と招聘国の生徒との交流だけでなく、招聘国からの参加者同士の交流が深まるように、全ての国の生徒と引率者を集め、合同で実施しました。



オリエンテーションの様子

1 東京都教育委員会挨拶

冒頭の東京都教育委員会の挨拶では、「国内外を問わず様々な分野でグローバル化が進んでいます。このような時代には、年齢や国籍、文化の違い、障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し、協力し合うことが大切だと思います。そのために、東京都は、グローバル化が進む社会において、若い世代の国際力を養い、地球市民となる機会を提供していきたいと考えています。今年度の招聘事業では8カ国から100名の生徒を受け入れました。これほど多くの生徒を迎えることができ、大変嬉しく思います。

今後も皆様の学校、都市、国との国際交流が持続し、充実していくことを心より願っています。」と述べました。



教育庁グローバル人材育成部国際交流教育課長より挨拶

2 引率者向けオリエンテーション

生徒向けのオリエンテーションの前に、引率者のみで集まり、1週間の東京滞在を安全に過ごしていただくための留意事項を確認しました。

東京での生活における基本情報や留意点、受入都立学校を訪問した際の過ごし方やトラブル時の対応、ヘルプデスクの連絡先、その他の必要な情報を事務局から案内するとともに、引率者同士の顔合わせを行いました。



実施概要

- 東京都教育委員会挨拶
- 諸注意の説明(事務局)
 - ・ 全体日程
 - ・ 引率者への注意事項
 - ・ 緊急時の対応
 - ・ 引率者連絡先の確認
- 学校交流等について
 - ・ 各学校の時間割配布
 - ・ 都庁表敬について
- 質疑応答(事務局)

3 生徒向けオリエンテーション

引率者向けオリエンテーション終了後、生徒を交えてのオリエンテーションを行いました。

実施概要

- 東京都教育委員会挨拶
- 担当者紹介 (都教委、旅行会社・添乗員紹介)
- 全体日程 (事務局)
- 滞在に当たっての注意事項 (事務局)
 - ・ 滞在ホテルの利用に関すること
 - ・ 食事の提供に関すること
 - ・ ホテルの近隣情報 (コンビニ等案内)
 - ・ 外出と夜間に関して
 - ・ 交通ルール
 - ・ 貴重品の管理
 - ・ 名札の携行
 - ・ 携帯電話の使用について
 - ・ 撮影とSNS投稿について
 - ・ 撮影隊が同行することについて
 - ・ 飲酒、たばこの年齢制限について
 - ・ 体調不良時の対応
 - ・ ヘルプデスクの案内



滞在中の
注意事項について
確認しました!



4 グループミーティング

オリエンテーションの後半は国ごとのグループに分かれ、各国を担当するコーディネーター2名が1週間の予定について、詳細なガイダンスを行いました。

実施概要

- 席移動 (国ごとに分かれる)
- 国ごとの詳細日程説明 (事務局添乗員 (コーディネーター) + 都教委)
 - ・ 各日の動き (出発時間) の確認
 - ・ 受入校での時間割配布、学校からの伝達事項を確認
 - ・ 学校で実施予定のプレゼンデータの回収確認
 - ・ 都庁表敬時の代表者、記念品の確認
 - ・ 食事制限ありの参加者の確認
 - ・ 質問対応



招聘国同士の
交流も
ありました!

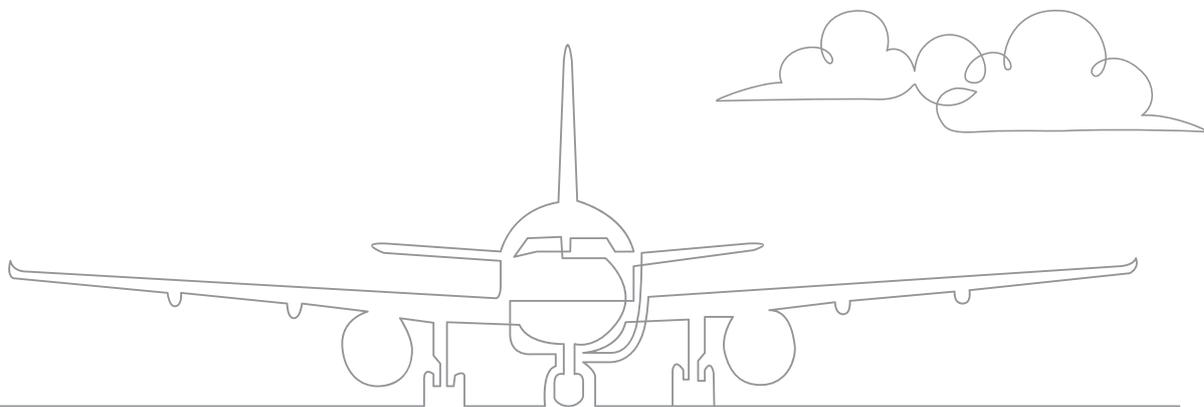
6 招聘プログラムの概要

本事業は令和5年11月の2週に渡って実施し、各週、4つの招聘国からの生徒と引率者を受け入れました。各週の実施スケジュールは以下のとおりです。

1 プログラムスケジュール

1週目

日程	日付	時間	行程	対象
到着日	11月11日(土)	午後	日本到着→宿泊先へ移動	招聘国ごと
		午前		
	11月12日(日)	午後	オリエンテーション(宿泊先ホテル会議室にて) ・引率者向けオリエンテーション ・生徒向けオリエンテーション ・グループミーティング	合同
1日目	11月13日(月)	午前	大使館訪問	招聘国ごと
		午後	都内視察(チームラボ見学)	合同
2日目	11月14日(火)	終日	都立学校訪問【1日目】	各受入学校にて交流活動 (パディ生徒との面会、授業参加、 部活動参加、各種イベント)
3日目	11月15日(水)	終日	都立学校訪問【2日目】	
4日目	11月16日(木)	終日	都立学校訪問【3日目】	
5日目	11月17日(金)	午前	修了式 教育長表敬 都庁訪問	合同
		午後	都内視察(浅草地区:浅草寺視察、昼食、着物体験)	
帰国日	11月18日(土)	午前	出国	招聘国ごと
		午後		



2週目

日程	日付	時間	行程	対象
到着日	11月18日(土)	午後	日本到着→宿泊先へ移動	招聘国ごと
		午前		
	11月19日(日)	午後	オリエンテーション(宿泊先ホテル会議室にて) <ul style="list-style-type: none"> ・引率者向けオリエンテーション ・生徒向けオリエンテーション ・グループミーティング 	合同
1日目	11月20日(月)	終日	都立学校訪問【1日目】	各受入学校にて交流活動 (バディ生徒との面会、授業参加、 部活動参加、各種イベント)
2日目	11月21日(火)	終日	都立学校訪問【2日目】	
3日目	11月22日(水)	終日	都立学校訪問【3日目】	
4日目	11月23日(木)	午前	都内視察(チームラボ見学)	合同
		午後	都内視察(浅草地区:浅草寺視察、昼食、着物体験)	
5日目	11月24日(金)	午前	大使館訪問	招聘国ごと
		午後	都庁訪問 修了式、教員長表敬	合同
帰国日	11月25日(土)	午前	出国	招聘国ごと

2 大使館訪問



【ヨルダン大使館にて】
ヨルダンへの派遣を予定していた都立高校生と一緒に意見交換を行いました。

大使館へ
御挨拶に
伺いました！

今回のプログラムでは招聘各国の駐日大使館を訪問し、大使や外交官にお会いする特別な機会を設けました。初めは緊張した面持ちでしたが、大使や職員の方に歓迎され、次第に笑みがこぼれ、談笑しました。

日本で活躍する自国の外交官のお話を皆、熱心に聴きました。



【インド大使館にて】
大使館にて留学生へ向けたセレモニーを行っていただくなど手厚い歓迎を受けました。

3 文化体験①

日本の先端技術を音と光の映像で感じることができる、外国人にも人気の施設を訪問しました。荘厳で美しいプロジェクションマッピングによる、幻想的で独創的な空間を存分に体験しました。



見るもの全てに感動！



訪問を楽しみにしていた生徒も多かったようです。写真を撮ったり、寝そべってみたいり、皆思いおもいに過ごしました。

teamLab Planets TOKYO DMM

4 文化体験②

浅草訪問



日本の伝統文化を学びに浅草を訪問しました。到着後すぐに着物に着替え、浅草の街を散策しました。和装の所作や、お寺の参拝方法を学びました。



お気に入りの柄や色の着物を選んで、散策を楽しみました。浅草寺ではおみくじにも挑戦しました。



おみくじは
初体験！

5 都内視察

都庁訪問(職員食堂、展望室)

東京都庁へ訪れる機会を設けました。
ランチタイムには職員食堂を訪問しました。
第一本庁舎32階ワンフロアを使った広大な空間ですが、お昼時は職員で賑わいます。

留学生も職員の方々とテーブルを共にし、食事を楽しみました。
メニューを選んで食券を購入するという日本ならではの食堂文化を体験することができました。

都庁第一本庁舎の展望室への訪問では、地上202メートルの高さから東京の街を一望しました。

高層ビル群やスカイツリー、遠く富士山まで望める圧巻の景色に留学生たちは夢中でカメラのシャッターを切っていました。



食堂は
各国の生徒で
大賑わい!



都庁おもいでピアノに挑戦!



東京の夕焼けを
一望!

6 食事手配

国や地域、民族が変われば、その食文化も様々です。今回は欧州、東南アジア、西アジア、中東や北アフリカと多様な地域から生徒を受け入れたことから、事前調査やヒアリングを入念に行い、食事計画を立てました。



天ぶらが好評で「おいしい!」と日本語で喜ぶ留学生もいました。

● どんな食事手配を心がけたか

食事施設は大人数を収容できる場所に加え、**ハラール、ベジタリアン、アレルギー対応が可能な店**を、バリエーションも含め、限られた予算のなかで確保できることを条件として探しました。
フードコートへ案内するなど、**各国の宗教アレルギー対応**

各国の宗教
アレルギー
対応

学校へ昼食のお弁当を持参させる場合、**弁当事業者との事前調整が不可欠です**。
弁当メニューの**アレルギー等調整はもちろんのこと、まとまった数量の早期デリバリー対応を可能とすること**などの交渉を行う必要がありました。



通学が早朝出発の場合、ホテルでの提供が不可となる場合があります。
バリエーションも加味しながら、近隣のベーカリーなどで**早期デリバリー対応が可能な店を探す**などの対応をしました。

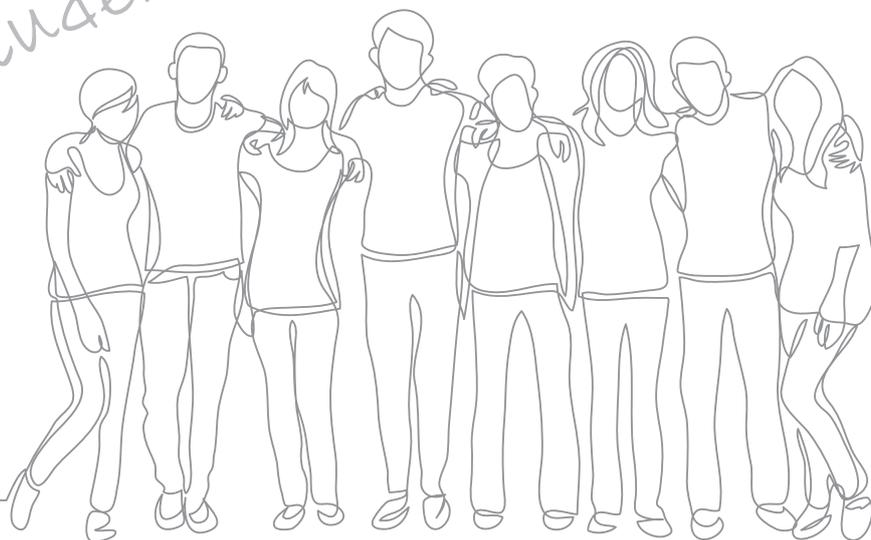


7 学校交流

事例紹介一覧

事例 No.	交流内容	学校	招聘国
1	歓迎会・オリエンテーション	富士高校・附属中	ヨルダン
2	授業体験 (バディ制)	大泉高校・附属中	インドネシア
3	授業体験 (英語)	南多摩中等	ヨルダン
4	発表・ディスカッション	小石川中等	フィンランド
5	部活動体験 (和太鼓部)	白鷗高校・附属中	シンガポール
6	部活動体験 (茶道部)	武蔵高校・附属中	マレーシア
7	その他交流 (大使講演)	桜修館中等	トルコ
8	その他 (附属小学校交流)	立川国際中等・付属小	エジプト
9	送別会・フェアウェルパーティ	両国高校・附属中	インド
10	送別会・フェアウェルパーティ	三鷹中等	フィンランド

/ Student Exchange /



歓迎会・オリエンテーション



歓迎会での記念撮影

1 日時・場所等

受入期間
令和5年11月14日(1日)

交流事例の実施場所
体育館、多目的ホール

学内参加者・関係者
中学1年生～高校2年生の全生徒(約800名)
国際交流係生徒、校長、副校長、教員

交流相手国と人数
計14名
・ヨルダンからの高校生(12名)
・引率教員(1名)
・ヨルダン教育省職員(1名)

2 当日の実施スケジュール

- 8:15 代表生徒が駅にお迎え
- 8:30 来校、控室で待機
・予定の確認、礼拝所の案内
- 8:40 歓迎会を実施
・校長挨拶
・訪問団代表挨拶、記念品授与、ヨルダン代表生徒挨拶
・学校・日本紹介動画披露
・伝統文化等紹介(箏演奏、合唱、なぎなた演武・体験)
・ヨルダン生徒発表(文化、歴史、学校、趣味など)
・全員で記念撮影後、パディと対面
- 10:30 交流授業(中学3年生～高校2年生)
・古都や両国の行事・共通点等の紹介、書道、伝統遊び、教育議論
- 15:30 校内案内 部活動(茶道)体験
- 17:00 係・パディ生徒でお見送り

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 学校全体で歓迎していることが伝わるよう、全校生徒で歓迎会を実施。
- ✓ 係生徒を中心にプロジェクトチームを結成し、企画・運営。(生徒デザイン横断幕作成)
- ✓ 日本の伝統文化に関する演目を複数披露。
- ✓ 学校紹介動画を自主作成し、歓迎会で生徒のナレーション付きで披露。
- ✓ ヨルダン生徒は壇上挨拶後、フロアで演目鑑賞。
- ✓ 演武後、実際に薙刀に触れる体験の時間を設定。
- ✓ 複数教科で事前学習を実施、調べた内容を廊下にポスター掲示、ヨルダン生徒に披露。

授業体験(バディ制)



バディ生徒とグループ討議する様子

1

日時・場所等

受入期間

令和5年11月20~22日(3日間)

交流事例の実施場所

各授業の教室

学内参加者・関係者

高校1・2年生バディ(12名)

担任・授業担当者・部活動顧問・国際交流委員会

交流相手国と人数

計15名

- ・インドネシアからの高校生(12名)
- ・インドネシア教育省からの引率(3名)

2

当日の実施スケジュール

8:30 校門で出迎え(初日のみ)

9:00 歓迎会・オリエンテーション(初日のみ)

3限~ 授業体験

- ・通常の時間割にバディとともに参加
- ・授業ではバディ生徒の隣に座り、英語で授業内容をサポート
- ・教科書はバディと共有またはコピーを提供

昼休み 昼食

午後 授業体験(最終日のLHRで送別会)

放課後 部活動体験(華道・茶道・書道)

17:00 終了

3

実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 極力時間割変更をせず、普段の授業進度に影響を与えないようにした。
- ✓ バディの生徒と日本の学校生活をありのまま過ごした。
- ✓ 部活動体験で日本の文化に触れたり、送別会が盛り上がるように吹奏楽部・合唱部・フォークソング部に出演を依頼した。
- ✓ 海外の生徒でも授業内容等を理解しやすいよう、英語表記のプリント教材を準備した授業もあった。

授業体験(英語)



学習した英語の表現を使ってヨルダン生徒と会話している様子

1 日時・場所等

受入期間

令和5年11月15・16日(2日間)

交流事例の実施場所

1、2年生の各教室

学内参加者・関係者

1年生(159名)、2年生(160名)
教員(4名)

交流相手国と人数

計14名
・ヨルダンからの高校生(12名)
・引率教員(1名)
・ヨルダン教育省職員(1名)

2 当日の実施スケジュール

- 8:20 学校到着
- 1・2限 授業体験
- 3限 授業体験(中等1年生英語・少人数展開)
・自己紹介
・ヨルダン生徒による発表
・質疑応答
- 4限 授業体験(中等1年生英語・少人数展開)
・3限と同じ内容を別のクラスで実施
- 昼休み 昼食(中等4年生パティ生徒と一緒に)
- 5・6限 授業体験
- 放課後 さよならの会
- 16:30 終了

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 事前にヨルダン側に発表の準備と参加生徒の自己紹介カードを作成するように依頼した。
- ✓ 学習してきた英文を用いて、会話を実践的に行うことができた。ゲームを取り入れて会話を続けることができるように工夫をした。
- ✓ 生徒はコミュニケーションを取ることができたときの喜びを感じると同時に、相手に意図が伝わらないくやしさを感じ、これからの英語学習に積極的に取り組もうとする意欲が得られた。

発表・ディスカッション



フィンランド生徒による自己紹介の様子

1 日時・場所等

受入期間

令和5年11月14・15日(2日間)

交流事例の実施場所

中等4年生の各教室・多目的ホール

学内参加者・関係者

中等4年生全員
担任・国際交流担当教員・副校長・校長

交流相手国と人数

計14名
・フィンランドからの高校生(12名)
・引率教員(1名)
・ヘルシンキ市職員(1名)

2 当日の実施スケジュール

11月14日(火)の場合

8:15 登校
1限 中等4年生との交流(ウェルカムセレモニー)
2限 授業体験(地学・情報・現代国語)
3・4限 ディスカッション
テーマ:フィンランドと日本両国の教育制度の違い
5限 お茶会(フィンランド生徒のみ)
6限 授業体験(歴史)
7限 授業体験(体育)
16:00~ 交流会
16:50

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 約2か月前から、ヘルシンキ市担当者及び派遣元学校とオンラインで打合せをもち、来日時での交流が深まるように努めた。
- ✓ 2週間前には、オンラインで事前交流を実施し、双方の生徒同士が、自身の興味や日本で学びたいことなどについて発表した。
- ✓ 生徒同士が実際に対面で会った際には、すでに親近感がわいており、すぐに仲良くなった。
- ✓ テーマについて事前学習し、疑問点を明確にしておいたことで、議論が深まった。
- ✓ ディスカッションの流れ
 - ・中等5年生が司会・進行
 - ・フィンランド高校生と小石川代表生徒が、自国の教育制度について全体に対して発表した。
 - ・質疑応答 → グループディスカッション → 全体でグループごとの意見を共有、という流れで実施した。

部活動体験(和太鼓部)



和太鼓部の生徒がシンガポール生徒に
ばちの使い方を指南する様子

1 日時・場所等

受入期間

令和5年11月20・21日(2日間)

交流事例の実施場所

武道場

学内参加者・関係者

和太鼓部の生徒(17名)
部活顧問(1名)

交流相手国と人数

計14名
・シンガポールからの高校生(12名)
・シンガポール教育省からの引率(2名)

2 当日の実施スケジュール

- 8:10 校門で出迎え(初日のみ)
8:20 朝礼で高校1年生に紹介(初日のみ)
8:40 授業体験
・4クラスに分かれて授業に参加
・理系/文系科目を混ぜ、様々な授業に参加
12:10 昼食
13:00 授業体験
14:50 茶道体験
15:50 部活動体験(和太鼓部)
・和太鼓パフォーマンス
・体験
17:00 終了

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 和太鼓の素晴らしさを知ってもらうために、始めに演奏を行った。
- ✓ 実際に和太鼓に触れることで、日本の伝統や文化に、より一層興味をもってもらえるよう工夫した。
- ✓ シンガポールの生徒からは、難しかった、楽しかった、という感想があった。
- ✓ 地域の小・中学生に説明することはあったが、英語での説明は、部員にとっても新鮮だった。

部活動体験(茶道部)



茶道部の生徒がマレーシア生徒にお点前を披露する様子

1 日時・場所等

受入期間

令和5年11月20・21日(2日間)

交流事例の実施場所

茶室

学内参加者・関係者

茶道部の生徒(10名)、部活顧問(1名)
バディ生徒を高校1・2年から選出

交流相手国と人数

計14名
・マレーシアからの高校生(12名)
・引率教員(2名)

2 当日の実施スケジュール

- 8:50 校門で出迎え(初日のみ)
- 1限 オリエンテーション(初日のみ)
- 2～7限 授業体験
 - ・グループに分かれ、高校1・2年生の授業に参加
 - ・バディ生徒が英語でサポート
- 7限 マレーシア生徒によるプレゼンテーションとクイズ(2日目のみ)
- 放課後 部活動体験(茶道部)
 - ・茶道の作法を説明
 - ・お点前を披露
 - ・質疑応答
- 17:00 終了・見送り

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 茶道の歴史や作法を丁寧に説明することで、より理解を深めてもらうよう工夫した。
- ✓ 和菓子の提供に当たり、事前に食物アレルギーや苦手な食材を確認した。
- ✓ 正座の苦手な生徒に配慮し、姿勢を崩しても構わないことを伝えた。
- ✓ 生徒は、英語の説明を何度も練習し、当日は何も見ずに言えるようになり、生徒の成長を実感した。

その他交流(大使講演)



トルコ大使による講演の様子

1 日時・場所等

受入期間

令和5年11月14日～16日(3日間)

交流事例の実施場所

多目的ホール

学内参加者・関係者

高校1年生の全生徒(約160名)
国際交流委員の教員、校長、副校長

交流相手国と人数

計18名
・トルコからの高校生(16名)
・引率教員(1名)
・派遣元の教育委員会職員(1名)

2 当日の実施スケジュール

- 1～5限 授業体験(スペシャル授業含む)
- 6限 生徒は視聴覚室に集合
- 13:50 大使到着・校長室で対応
 - ・校長挨拶、学校での交流紹介、講演内容の確認
- 14:25～ 講演開始(視聴覚室)
 - 15:15 大使、通訳(大使館職員)紹介
 - ・講演(同時通訳)
 - ・質疑応答
 - ・代表生徒からのお礼
 - ・本校から記念品贈呈
 - ・記念撮影
- 15:40 フェアウェルパーティー
 - ・3日間の映像鑑賞
 - ・歓談(トルコ大使も同席)
 - ・トルコ学生からのお礼の歌
 - ・トルコの特産品のお土産贈呈
 - ・記念撮影

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 毎年開催しているトルコ大使の講演を、大使館の協力を得て、トルコの生徒が滞在期間中に実施することで、日本とトルコ、両国の生徒にとって、貴重な機会となった。
- ✓ 質疑応答では、大使のユーモアを交えた回答に、会場が笑いに包まれた。
- ✓ 大使が両国の生徒に共通の話題を話すことで、生徒にとって、トルコをより身近に感じるとともに、両国の歴史や相違点などについて、グローバルな視点から考える契機となった。
- ✓ トルコ大使館と、今後も交流を継続していく。

その他(附属小学校交流)



交流を前に、挨拶するエジプトの生徒たち

1 日時・場所等

受入期間

令和5年11月14・15日(2日間)

交流事例の実施場所

体育館

学内参加者・関係者

小学校2年生(69名)

教員(5名)

交流相手国と人数

計14名

・エジプトからの高校生(12名)

・引率教員(1名)

・エジプト教育省職員(1名)

2 当日の実施スケジュール

8:30 校門で出迎え(初日のみ)

8:40 オリエンテーション・校内見学(初日のみ)

9:35 授業体験

11:25 附属小学校での交流

・エジプト生徒の紹介

・小グループになり英語でジェスチャーゲーム

・Can you~? ゲーム

・日本の歌の合唱(まっかな秋、附属小学校の歌)

・英語でお別れの言葉

・記念撮影

12:10 昼食

5・6限 授業体験

14:50 送別会

16:00 お見送り

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 授業、部活動を含め、小中高の全ての学年が交流できるように時間割を工夫した。
- ✓ 小学生が英語を使い、伝わったことが実感できるような活動とした。また、言語を介さずに交流できるゲームやスポーツの要素を取り入れた。
- ✓ エジプトの生徒が戸惑わないように、事前に小学生の特性や英語力、交流の目的などを伝えた。
- ✓ 浴衣着付け、書道、昔遊びなど、日本文化体験の時間を設けて、在校生が先生役となり実施した。在校生にとっても日本文化を再認識できる機会になった。

送別会・フェアウェルパーティ



最終日の送別会でインド生徒と合同でのソーラン節を演舞

1 日時・場所等

受入期間

令和5年11月20～22日(3日間)

交流事例の実施場所

体育館

学内参加者・関係者

高校全生徒(402名)、中学全生徒(440名)
校長、副校長、国際部(3名)

交流相手国と人数

計14名
・インドからの高校生(12名)
・引率教職員(2名)

2 当日の実施スケジュール

8:00 校門で出迎え(初日のみ)・記念撮影

8:15 歓迎会
・生徒会長、インド代表生徒の挨拶
・ソーラン節等の披露

8:45 ガイダンス・校内見学

2～7限 授業体験

7限 フェアウェルパーティ(送別会・最終日)

・生徒会長、インド代表生徒の挨拶
・インド生徒による伝統ダンスの披露
・ソーラン節を両国の生徒と一緒に演舞
・記念品撮影

放課後 部活動体験

17:30 終了

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 互いの生徒と一緒に楽しめるよう、事前にインド側に、伝統的なダンスの披露を依頼した。
- ✓ インド生徒が、歓迎会で披露したソーラン節を気に入り、送別会で一緒に踊ることとなり、急遽、合同練習を実施した。
- ✓ 様々な学年、クラスの授業に参加したが、各クラスでバディを決め、丁寧にサポートした。
- ✓ 「校内で交流ができて、とても楽しかった。世界中に友達を作りたい」との声があった。

送別会・フェアウェルパーティ



歓送式での吹奏楽部の演奏の様子

1 日時・場所等

受入期間
令和5年11月16日(1日)

交流事例の実施場所
多目的室

学内参加者・関係者
中等4年生と5年生のバディ生徒、吹奏楽部
国際交流委員の教員、校長、副校長

交流相手国と人数
計14名
・フィンランドからの高校生(12名)
・引率教員(1名)
・ヘルシンキ市職員(1名)

2 当日の実施スケジュール

- 1～6限 オリエンテーション・授業体験
放課後 部活動体験
・日本の伝統文化等(剣道、弓道、茶華道、UNIX研究
同好会)を体験
- 16:30 歓送式を実施
・担当者挨拶
・フィンランド代表挨拶
・バディ代表生徒挨拶
・フィンランド代表生徒挨拶
・記念品授与
・吹奏楽部演奏
・記念撮影
- 17:00 お見送り

3 実施内容、工夫したこと、感想、成果

- ✓ 当日は、バディの生徒が全てを対応したため、最後までバディ生徒との交流を深められるよう、小規模な歓送式とした。
- ✓ 感動的なフィナーレとなるよう、吹奏楽部の演目を工夫した。
- ✓ 記念撮影後の時間を十分に確保するよう配慮した。
- ✓ バディ生徒と写真を撮ったり、連絡先を交換したり、名残り惜しい会となった。

8 修了式

交流の最終日には、都庁近くのホテルにて、本プログラムの修了式を実施し、教育長の挨拶や代表生徒によるスピーチ、記念品の交換を行いました。

修了式では、留学生が伝統的な衣装を身に付け参加するなど、思い出に残る行事となりました。

1 教育長挨拶

今回、皆さんを都庁にお迎えできて、とても嬉しく思います。学校交流などを通して、異なる文化への理解を深め、多様な人々と共に生きる大切さを学んでいただけたことと信じております。その経験が、皆さんの将来の可能性を広げていきます。

今後も、本日参加の国々との関係をより一層深めて行きたいと思っております。

皆さんが、将来、世界を舞台に活躍されることを期待しております。

It's my great pleasure to welcome you all here. I believe that you have deepened your understanding of different cultures and learned the importance of living together with diverse people. This experience will expand your future possibilities.

We will continue to try our best to deepen the relationship with your countries for your bright future.

I will conclude my speech wishing for your great success on the next global stage.



修了式を実施しました

実施内容

- 東京都教育長挨拶
- 各国の代表生徒のスピーチ
- 記念品贈呈
- 集合写真の撮影
- 歓談の時間

2 代表生徒スピーチ

フィンランド

私たちの国とは文化も言語も違うけれど、学校交流を通じて、お互いの考えていること、感じていることやお互いの文化を共有できたのはすごく良かったと思います。

インドネシア

通学時に利用した地下鉄が印象的でした。多くの路線が繋がりが便利なシステムになっているところが面白いと思いました。



インドネシアの代表生徒

3 記念品贈呈



ヨルダンの代表生徒

スピーチに続いて行われた記念品贈呈では、各国の代表生徒から伝統的なスタイルの器やオーナメントなどの工芸品が記念品として教育長へ贈られました。

東京都教育委員会からは青と白の大小の達磨のセットが留学生に贈られました。

縁起のよい達磨を贈呈!



9 帰国

最終日は、帰国するフライトの出発時間に合わせ、各国で予定を立てました。

1 最終日の様子

帰国便の出発時刻に合わせてホテルを出る時間を調整したり、帰国便が夕刻になる場合は短時間の都内視察を組んだり、帰国の時間まで留学生が東京を体験できるよう旅程を工夫しました。



トルコの留学生

時間に余裕をもって空港に到着しました。また、混雑時間を避けてスムーズに搭乗手続きができるよう旅行代理店のスタッフが空港内での移動をサポートしました。



シンガポールの留学生



マレーシアの留学生

空港で
記念撮影!

2 帰国空港での様子

一週間の滞在を終えた留学生は、見送りに来ていた東京都教育委員会の関係者や添乗員と記念写真を撮るなど、最後まで疲れた様子を見せずに東京での交流を楽しみました。

各国への帰国便は大きな混乱もなく無事に東京を出発し、皆、帰国の途につきました。



東京でまた
お会いしましょう!



***We wish for your great success
on the next global stage!***





発行情報

令和5年度 海外高校生招聘事業

令和6年1月発行

編集・発行 東京都教育庁グローバル人材育成部国際交流教育課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-6848

制作 東武トップツアーズ株式会社